

都民の視点に立った医療情報 見直しの方向性 (案)

対象1 課題2 医療制度などに関する都民の理解

<計画策定後の新たな課題>

・令和元年度に実施した「医療に関する都民意識調査」等において、都民の医療機関の役割分担の認識や、かかりつけ医の役割やメリット等の理解が不足している

(取組2) 医療制度などに関する都民の理解

○ “医療情報ナビ”や“こども医療ガイド”等を活用して、医療の仕組みや医療に関する基礎的な知識等を分かりやすく情報提供します。

追記 (案)

○ 医療機関の役割分担や適切な医療のかかり方、かかりつけ医の役割等について、都民の効果的な理解促進を図るため、「医療情報ナビ」の改訂等により、医療に関する適切な情報提供・普及啓発を充実させます。

都民の視点に立った医療情報 見直しの方向性 (案)

対象2 課題3 ICTを活用した医療情報等の共有

<計画策定後の新たな課題>

・地域包括ケアシステムの構築をより一層推進するためには、地域に密着した存在であり、切れ目のない医療連携の中核を担う中小病院のICT化を促進する必要がある

(取組3) ICTを活用した効果的な医療情報の共有等の促進

○ 服薬情報や検査結果などの患者情報等の共有による、急性期から在宅療養への切れ目のない医療連携の推進や、過剰投薬や二重検査の防止など患者の負担軽減を図るため、ICTを活用した地域医療連携ネットワークの構築に取り組む医療機関等を支援します。

追記 (案)

○ 地域に密着した存在であり、切れ目のない医療連携の中核を担う中小病院に対し、電子カルテシステムの導入や、地域医療連携システムの導入等を支援し、ICT化を推進します。